

ラットフォームシステムの重要性
や予算措置の必要性について問う。

答 児童生徒が社会とつながる
プラットフォームを活用し、自発的にさまざまな人と関わりながら自分で学びを深める学習活動は重要である。児童生徒の自律的な学びが実現できる仕組みやシステムについて、必要な予算も含め検討していく。

子ども 里親へのさらなる支援体制の充実を
市民ク

問 困難を抱える子どもへの支援について、家庭での養育が困難な場合、里親への措置があるが、現実には、子どもが心に深い傷を抱えていたり、思春期の対応が難しかったり、予想外の困難に直面する。里親の声を取り入れ、さらなる支援体制の充実が必要と考えるが所見を問う。

答 里親の支援体制については、今年度、里親支援センターを設置しており、引き続き、子どもや里親の声を聴きながら、さらなる充実に取り組んでいく。

商工業、観光、文化、農林水産業、港の整備など

問 博多港カーボンニュートラルポート形成計画は、2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロ実現の取り組みを定めているが、2030年度の目標50%削減も程遠い状況である。実現可能な計画にすべきだが所見を問う。

答 博多港では、同計画に基づき、照明のLED化、市有

船舶へのバイオ燃料の導入等を行っている。また、民間事業者の機運醸成を図り、国に支援を働きかける等、今後とも、官民連携して脱炭素の取り組みを進めていく。

経 済 理系学生の活躍の場の創出を
維 新

問 高度専門職を志す若年層の市外流出が続いている。理系学生の活躍の場創出の取り組みが一層進展するには、部局横断型のプロジェクトチームなども必要である。若者が挑戦したい都市にどのように加速させていくのか。

答 若者をはじめ多様な人材がさまざまな分野で自己実現できる場をつくり、福岡を「大きな夢がかなうまち」にすることが重要。今後とも、若者が将来に希望を持ち、誰もが心豊かに暮らせる都市に向けて取り組んでいく。

経 済 半導体関連企業誘致に向けた決意を問う
自 民

問 台湾貿易投資センターが4月に開設されるなど、半導体や貿易関係企業の進出に期待が高まっているが、立地交付金を拡充するのか。半導体関連企業の誘致に向けて産学官一体となって汗をかく必要があるが決意を問う。

答 半導体関連企業進出の動きが活発化している機を逃さず誘致を推進していくことが重要であり、立地交付金の拡充を検討していく。産学官それぞれの強みやネットワークを生かし、半導体関連企業の集積に取り組んでいく。

経 済 国際金融都市を目指す市の戦略を問う
無所属

問 2024年6月、市は金融・資産運用特区に指定され、

国際金融戦略の中核都市の役割を期待されている。国際金融都市を目指すに当たっての戦略を問う。

答 金融機能の集積を通じて、成長産業などの発展につなげることが重要である。誘致企業と地場企業とのマッチングによる新たな金融サービスの展開や、地場企業の資金調達機会の多様化など金融機能の強化を図り、市がハブとなり、九州全体の発展に貢献できるよう取り組んでいく。

港 空 空港国際線への交通アクセスとして鉄軌道を検討すべき
無所属

問 福岡空港国際線への交通アクセスについては、市長も鉄軌道を検討したいと言っていたが、検討は進んでいない。いろいろな観点からアクセスを強化すべきと考えるが所見を問う。

答 今回改訂した都市交通基本計画では、福岡空港をはじめ各拠点等へのアクセス強化の検討を新たに位置付けており、計画検討に当たり鉄軌道の試算を行っている。今後、どのような取り組みができるか、国や交通事業者とも適宜相談しながら検討していく。

社会福祉、保健衛生、住宅、建築、都市計画、公園など

交 通 バス路線廃止等撤回の要請とコミュニティバスの導入を
共 産

問 令和7年3月の西鉄バスダイヤ改正による路線廃止や減便で、住民生活に影響が出ている。市は、西鉄に路線廃止や減便の撤回を要請するとともに、不便になった地域等にコミュニティバスを運行すべきだが所見を問う。

答 今後とも、地域の実情を踏まえながら、交通事業者と連携し、バス路線の維持に取り組むとともに、条例に基づく休廃止対策や、公共交通不便地等における支援の強化等、持続可能な生活交通の確保に取り組んでいく。

答 今後とも、地域の実情を踏まえながら、交通事業者と連携し、バス路線の維持に取り組むとともに、条例に基づく休廃止対策や、公共交通不便地等における支援の強化等、持続可能な生活交通の確保に取り組んでいく。

福 祉 高齢者乗車券の券種交換は状況により柔軟な対応を
公 明

問 バス路線の廃止などで高齢者乗車券が利用できなくなる場合や、病气やけがなどで従来の券種での移動が困難になる場合など、状況の変化により申請後の高齢者乗車券の券種の交換に柔軟に対応すべきと考えるが所見を。

答 高齢者乗車券の交換には、踏まえた体制整備が必要となるが、事業者の交代により券が使えなくなるなど、真にやむを得ない事情が認められる場合には対応を検討していく。

住 宅 市営住宅の役割を踏まえたさらなる有効活用を推進を
公 明

問 住宅セーフティネットの役割を担う市営住宅は、今後さらに重要性が増してくる。誰もが安心して住み続けることができる住環境づくりについて市長の決意を問う。

答 今後とも、高齢者や障がい者、子育て世帯などの状況や、社会情勢の変化などを踏まえるとともに、国や他都市の動向も注視しながら、市営住宅を有効活用し、誰もが安心して住み続けられる住環境づくりにしっかりと取り組んでいく。

都市計画 市街化調整区域における違反建築物への指導強化を
維 新

問 市街化調整区域において、関係法令・条例の許可基準を満たさず、本来の目的から逸脱した状態で営業を行っているものがある。引き続き、指導の強化を図り、早急には正・改善を促していく必要があるが所見を問う。

答 安全・安心に暮らせる良好な生活環境を形成する上で、関係法令に適合した建築や、その維持・保全は重要である。今後とも、法令遵守の周知や啓発に努めるとともに、違反建築物の防止と是正の指導に取り組んでいく。

保健医療 市民病院は西日本に誇れる病院となるよう検討すべき
自 民

問 福岡市民病院は開院後37年経過し、建て替え時期を迎えている。市立こども病院のように、西日本に誇れる病院に生まれ変わるチャンスであるが所見を。

答 市民病院の在り方については、新型コロナウイルス感染症を契機とした医療環境の変化により公立病院に求められる役割が大きく変化しており、果たすべき役割や機能等の検討を進めている。新時代の要請に応える病院となるよう、市病院事業運営審議会答申を踏まえ方針を決定していく。

まちづくり 冷泉小学校跡地は歴史や公共の役割を踏まえた活用検討を
無所属

問 冷泉小学校跡地の活用は、国史跡に指定された博多遺跡の活用や学校施設が担ってきた公共の役割など、しっかりと市にも取り組んでほしい。令和6年10月に民間アイデア募集を実施し、民設民営を基本とした理由を問う。

答 跡地活用方針策定の検討過程で、地域との協議により

導入を検討することとした機能の、整備・運営主体に関する民間アイデア募集を行ったものである。今後とも、アイデア募集や地域の意見を踏まえ検討していく。

環境、道路、下水道、河川、消防、水道、地下鉄など

道 路 相生踏切横断歩道橋へ速やかなエレベーター設置を
公 明

問 博多区の相生踏切は開かずの踏切で、渡りきるまでの距離も長く、遮断時間も大変長い。横断歩道橋へのエレベーター設置を訴えてきたが、日々の生活に利用する住民に寄り添った速やかな対応を心より願ひ答弁を求める。

答 相生踏切の横断歩道橋は、横断時の安全かつ円滑な移動の観点からさらなる改善が必要とされている。バリアフリーの観点からエレベーター設置の必要性が高いと認識しており、設置に向け、しっかりと検討していく。



相生踏切横断歩道橋

このほかの主な質問

- 安心できる自転車環境の整備について
- マイクロスバスを活用した地域活動の推進について
- 実効性ある学校の働き方改革の推進
- 保育行政について
- 国民健康保険の医療費適正化のさらなる推進について
- 熱中症対策について